

問 計画終了後のワーキンググループは

答 課題に応じて実施

西元

地方版総合戦略の計画に
あたり3つのワーキンググ
ループができた。計画期間
は平成31年度までだが、や
りがいや新たな発想を生み
出すきっかけにも成り得る
良い活動である。期間終了
後も継続されるか。

池田町長

長いスパンの中で議論し
計画するためには各課横断
的な若い世代の意見を聴く
ことが重要である。各課題
に応じてワーキンググルー
プ活動を行い、よりよい計
画づくりに活かしていきたい。

西元

8月に2名の協力隊員が
任期を迎える。町としての
ビジョンを十分に示し、受
け入れ体制を整えていくこ
とが大切だと思うが新たな
協力隊員の募集を考えてい
るか。

池田町長

新たな考えも出てくるの
で、本人に伺いながらサポ
ートしている。2名の任期
満了後には、ある一定のミッ
ションを求める形に絞った
募集を検討している。協力
隊員だけでなく、地域の方

問 新たな地域おこし協力隊は

答 ミッションを絞つての募集を検討中

々にも受け入れの体制をとつ
ていただけるよう地域のコ
ミュニケーションについて
しっかりと指導していく。

岡崎企画調整課長

定住に向けての支援は任
期中で公営から定住用住
宅への転居を認め家賃の支
援をしているほか任期終了
後に起業する場合には国の
特別交付税の対象となる上
限100万円まで、対象経費の
支援が可能である。起業だ
けでなく個々の実績や能力
を加味し、町内の就職も含
めてどういう方向が良いか
適宜相談や指導を実施。
その他、国や県主催の研
修や講習への派遣もしてい
る。



地方創生ワーキンググループ活動の様子